

- 柴田小太郎 田中留太郎 牧山政弘 西村晋一郎 早川 穂 千葉愛之助
- 加藤太一 小早川豊二郎 根本松吉 八卷政信 垣内正三 花澤權藏
- 西村光直 渡久地政功 五十嵐進 海老原哲 笠原傳作 西原清隆
- 佐藤留吉 渡久地政忠 難波龜雄 秋葉榮作 日浦和一 小林豊太郎
- 窪田菊次 片岡源次 舟山忠三 西川豊太郎 西盛常好 武井民之助
- 中村延行 萩原定雄 石川直親 館左京 塚原孝保 安戸登造
- 高地壽男 立石萬吉 高尾直 伊藤福治 高橋昇治 佐藤保信
- 西貝京右衛門 高山信重 榎本 武藤永治 森谷貞三郎 佐藤長吉
- 樋口正一 佐藤旭柱 三浦竹松 太田輝資 古郡常久 佐藤哲治
- 園田吉藏 高橋八郎 山西泰之 鳴島與助 加部武志 先崎哲治
- 關壽清二 浦山隆行 渡邊軍司 淺利榮三 尾形孝太郎 大芝友四郎
- 高瀬正利 富田松藏 橋本 格 川田 浩 木崎榮三郎 長谷川 計
- (以上評議委員)
- 乾原貞榮 安川省三 齊藤芳郎 菊地喜一 高地 俱喜 赤松克繁
- 屋宮朝一 齊藤勇吉 松澤安太郎 森本 耕 當 山崎勝司
- (以上本部員) 合計五〇名

議長 森松克繁

一切の報告事項を省略して、直ちに議事に入る。

一、 運友同志會獨立に關する件

説明 當 事

執行委員會が石案を唯一の議題として、擴大評議委員會を開催した所以は、決して前日開催された運友同志會臨時大會に於ける、國家社會主義か、社會民主主義かの兩傾向の意見の相違に依る分裂が直前の動機ではない、我々運友同志會が大正十四年九月結成された當時より此處に七年間、先張同志の血と汗とに依つて、赤々と我々の同志會に...

集かれて來り幾多苦難の實踐は、今や我等が負ふ處の歴史的使命たる、全運信部内従事員の解放に向ひ、一鼓と躍しき躍進をなし得る、組合的基礎と、常に正しき認識と誤らざる對策を講じ得る確信を持つに至つたからである、即ち單獨組合として其の獨自性を發揮し行かんとする希望は漸次運友同志會陣營に強く叫ばれ來つたのである、然し乍ら我等は最も慎重に、凡ゆる條件の完全に熟する機会を待つて居た斯くて今日こそ其の最も適當なる機会たる事を確信するに至つたからである、と、具體的に事例を擧げて説明を終る。

質問 柴田小太郎、河西助次郎、西貝京右衛門、松本喜一郎 の諸君より本議案提出動機と政黨との關係に付き質問あり本部員より之に應答し、質問を終つて討論に入る。

賛成意見 河西助次郎、松本喜一郎、秋葉榮作、小林榮太郎、柴田小太郎、西原清盛、小金澤竹男、宮尾眞一、戸島豊治、塚田直治、加藤太一、山西泰之、田中成、浦山隆行

反對意見ナシ

萬場一致破るゝ許りの拍手の中に可決。左記の如き聲明書を發表す。

引續き本案可決に伴ふ一、名稱變更の件、一日本労働總同盟運友同志會」を單に「運友同志會」と變更し、本部を東京市芝區今入町十五番地和合俱樂部に置く事を決定した。

聲明書

我が運友同志會は創立以來茲に七年の闘争歴史を有し、その間幾多の難關を突破して今日運信部内に於て牢固として拔くべからざる組合的基礎を確立するに至つた。これ我等の組合精神が正當にして、常に客觀狀狀に正しく適合した結果に外ならぬ。我等は尙ほ前途に廣大なる未業の分野を有し、我等の開拓の努力の必要益々切なるを覺ゆるものであるが、我等は現下の客觀狀狀に鑑み我等の組合精神を更に鮮明にし、我等の陣營を更に擴大強化するため、運友同志會が單獨組合として運信部内にヨリ深く進出することの最も適當なるを認めるものである、かくして我等は運信部内唯一の労働組合として、その獨自性を發揮すると共に、一方時代の大勢に對しても、常に正確なる認識と對策とを講じ得るものと確信する茲に於て我等は多年我等を指導し且つ援助し來れる労働總同盟を脱退し、今後單獨組合として我等の目的